

パーソネルサービス株式会社

代表取締役 川島 博

大手電機メーカーの部品組み立て加工請負から始めて四半世紀以上。人材派遣業の認可を嶺南では初めて、福井県内でも一、二の速さで受けたというのに川島社長の心の中でいまだに整理がついていないことがある。それは、派遣という業務の性格上、どうしても「人の上前をはねる」ように「良心の痛みを感じずにはいられない」というのだ。その思いを、人の役に立てられる方向につなげる手段はないかと、川島社長が頭をひねり、県内でも最高の充実度を誇るまでになったのが同社自慢の「キャリアアカウンセンシングシステム」だ。



皆が思う「来る人に幸せになってほしい」という願い。現実にするのは難しいその願いを実現している企業。

人生を見つめ直す、キャリアアカウンセンシング。

「パーソネルサービス株式会社」に派遣先を求めて訪れた人は、まず家庭的な雰囲気。すべてを受け入れてくれる温かさがある。同社は思う、「仕事は人生そのもの。仕事は人生の中で最も大きな部分を占める一大事。自分らしい、いい仕事に巡り会えるかどうかで人生の値打ちが大きく変わってしまう」と。だからこそ仕事を求めてやってきた人達に、少しでも自分にあったものを見つけて幸せになってほしいと「キャリアアカウンセンシング」を取り入れている。

「キャリアアカウンセンシング」とは「自分は何か」「何をしたいのか」「何が好きか」を見定め、そこから自分の能力や価値観を見極めて、自分にマッチした仕事にたどり着くためのカウ

ンセンシングを行なうものだ。それだけではない。同社の特徴は「キャリアアカウンセンシング」に「コーチング」「NLP」の手法を同時に導入して、科学的にシステム化していることだ。

「コーチング」とは、「将来の自分はどうのようになりたいのか」「今の目標は……」を突き詰め、本来の自分のべき姿を自分で考え出す。一方、「NLP」は自分自身でもまだ気が付いていない潜在能力を活用する方法だ。川島社長は「キャリアアカウンセンシング」の県内派遣会社における先駆者。このシステムを現実化したのは「パーソネルサービス」だけである。

例えば、派遣先が気に入らなくて辞めたいと思っている人がいるとする。普通の派遣会社だと後処理をするだけであるところを、このシステムを使って「何が問題点なのか」を見つめ直し、前向きな方向性を導く。「悩んでいる人に寄りを見渡してもいい、どんな悩みを取り巻く環境のフレームを大きくしてあげることです。このシステムは働く人にとつて素晴らしい魅力で、もっともって活用してもらいたいですね」と川島社長。

親子二代で同社と関わる20組近くの人達がいる。

同社では、このシステムを深めるためのワークショップを開いたり、専門家による勉強会を開催。常に最新の情報を北陸三県のキャリアアカウ

ンセラに学習の場として提供している。また、地元敦賀短期大学でも授業に取り入れられている。

どこの派遣会社でも「来る人に幸せになってほしい」と思っているはず。「しかし、それを実現するのは難しいです」と川島社長。ちなみに川島社長がひそかに自慢に思っているのは、同社に親子二代で仕事をしている人達が20組近くいること。「二代にわたってご縁をいただいている人がそれだけなのは、当社が皆様に満足を与えられたという証拠だと考えています」

さらに言えば、同社を通じて生涯のパートナーを見つけ、結婚にこぎつけたカップルも10組以上いるのだという。「派遣業は一種の人生請負業。ヒューマンな仕事です」が川島社長の持論。「私は人に元氣と科学的に納得のいく生き方を与えていると思っています」と笑う。

また、派遣スタッフ向けに年1回の海外旅行も実施。派遣先が違うスタッフの親睦会にもつながる。「派遣スタッフ向けの海外旅行は当社くらい」と胸を張る。

今後は「派遣業で得た財産をグローバルに広め、コミュニティに活かして今までの知恵や経験を貢献、還元したいのです」という川島社長。その目ははるか未来を見据えていた。

パーソネルサービス株式会社

昭和57年大手電子部品メーカーの協力会社としてスタート。労働者派遣事業法の施行とともに、嶺南で「7P」を切った許可を取得。人間性の高いスタッフ派遣で地元経済界に貢献。平成2年、現社名に変更。

敦賀市松島130号259番4号
☎0770-24-0724



かわしまひろし

昭和21年2月25日生まれ。敦賀市出身。福井県立敦賀高等学校から大阪府立大学工学部卒。大阪で10年間のサラリーマン生活。敦賀で家業の衣料品販売を5年間手がけた後、昭和57年大手電子部品加工請負業を得て会社を設立。福井県人材派遣協会理事。現在、敦賀商工会議所海外ビジネス振興会会長も務める



平成19年10月、韓国釜山へ2泊3日の旅行。空港駐車場にて